

4－12 健康長寿

長きにわたって心身ともに健康な生活が続けられるように、住民一人ひとりが健康づくりや疾病予防、正しい食習慣の習得に励むような意識づくり、体制整備を進めます。特に、高齢者が生きがいを持って、自立した生活を営めるように支援します。

○施策体系

- (1) 健康づくり活動の推進
- (2) 心の健康づくり
- (3) 食育の推進
- (4) 疾病予防
- (5) 高齢者の自立支援
- (6) 高齢者の生きがいづくり

(1) 健康づくり活動の推進

【施策の目標】

子どもから高齢者まで誰もが生き生きと健康に過ごし、生活を楽しみつつ皆で支え合う豊かなむらづくりを目指します。住民一人ひとりが家族や地域社会で生きがいや役割を持ち、自らの意志で生活を工夫しながら、充実した生活を生涯続けられる環境整備を目指します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
健康に気をつける人の割合（20 歳以上）	80.8%	80.9%	84.8%
健診を受けている人の割合（30 歳以上）	82.0%	82.8%	86.0%
運動をしている人の割合（20 歳以上）	48.8%	56.5%	60.0%

□主な取り組み

○健康寿命の延伸及び健康づくりの推進

健やかな高齢社会を迎えられるように、健康寿命の延伸を目標とした健康づくりを支援します。また、生活習慣病を予防する生活が習慣づけられるように、学習機会や意識啓発を図るとともに、健康に対するインセンティブを付与します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
長寿村づくり推進事業（保）	104010190	長寿研究結果に基づく「健康とびしま21」計画の評価・見直し。広報・すこやかカレンダーへ健康情報の掲載、住民主体のオリジナル体操の普及等地域活動
すこやかセンター管理事業（保）	104010130	健康づくり活動に必要な環境を整備し、健康づくり活動の増進に努める
健康管理事業（保）	104010140	広報やすこやかカレンダー等における健康に対する情報提供・すこやか得点、さわやか得点の健康度評価・とびしま健康マイレージ事業の実施
健康福祉祭事業（保）	104010160	ウォーキングや体力測定、禁煙サポート、お酒相談などから運動習慣や生活習慣の改善意識を高める
母子保健対策事業（保）	104010410	生活習慣病を予防する生活が習慣化できるよう乳幼児期から健診・教室等を通じて知識普及を実施。地域の関係機関〔保育所（園）、飛鳥学園等〕と連携し、健康教育を実施

【計画指標②】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
健康管理の推進	—	継続	継続

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成23）年度は未記載

□主な取り組み

○健康管理の推進及び健康意識の啓発

健康教育等について、パンフレットや保険だよりを配布し、健康意識の啓発をするとともに、1年間、もしくは3年間健康であった世帯等に対して記念品を贈呈します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
健康世帯表彰事業（住）	201040110	1年間、もしくは3年間医療費が0円であった健康な世帯に対して記念品を贈呈
国保保健衛生普及事務事業（住）	210020110	健康教育等について、パンフレットや保険だよりの配布

【現状と課題】

- ・ 平成3年度より日本一健康長寿村構想を推進
- ・ 住民アンケートの結果をもとに、健康長寿における重点課題を柱とする「健康とびしま 21」計画を策定~~⇒~~（目標値を設定し目標を達成するための事業を展開するとともに、実践支援に必要な職員を配置）
- ・ 健康で安らかな長寿を楽しみ、皆で支え合う社会の形成のため、健康増進、疾病や機能低下の予防に重点
- ・ ライフステージに応じた自主的な健康づくり活動を推進するため、関係機関の連絡強化
- ・ 幼児期・学齢期からの良い生活習慣の定着、健康に関する意識付け

(2) 心の健康づくり

【施策の目標】

気軽に相談できる体制をつくとともに、心の健康づくりに関する知識の普及に努め、心身ともに安定した生活の実現を目指します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
睡眠がとれていない人の割合 (30 歳～59 歳)	15.5%	16.2%	11.5%
ストレス解消法のない人の割合 (30 歳～59 歳)	10.6%	4.1%	3.0%
相談相手がいる人の割合 (30 歳～59 歳)	95.8%	89.9%	97.8%

□ 主な取り組み

○心の健康等に関する情報提供

健診・健康教育・相談等の機会を通じ、心の健康に関する情報を提供するとともに、自殺防止に対する相談や広報を充実します。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
健康管理事業 (保)	104010140	健診・健康教育・相談等の機会を通じ、心の健康に関する情報を提供。また、自殺予防に関する相談窓口や知識の普及を行うため、パンフレットを全世帯に配布する
長寿村づくり推進事業 (保)	104010190	すこやかカレンダー、広報等による周知
健康福祉祭事業 (保)	104010160	ブース展示や自殺予防のリーフレットを配布し、人権や福祉問題などの理解を深める

【現状と課題】

- ・ 精神疾患に対する正しい知識を普及し、当事者・家族や、周囲が疾患を正しく理解し、地域の偏見をなくすことが必要
- ・ 十分な休養の取得やストレス解消に対する自分なりの方法を身につけるなど、正しい知識の普及が必要
- ・ 会議等での情報共有により、関係機関のネットワークを強化することで、潜在している当事者を支援に結びつける

(3) 食育の推進

【施策の目標】

一人ひとりが生涯にわたって心も体も健康で暮らすために、食に関する取り組みを全ての世代で積極的に推進します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
食育担当者会議の開催回数	—	1 回	1 回

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○食育推進体制の整備

家庭や保育所・保育園、学校などで、食育を効果的に取り組むために、関係部局との情報共有を図ります。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
食育を実施している関係機関との連携（保）	新規事業	食育が効果的に取り組めるために関係部局との情報の共有、取り組みの調整を図る
農業振興管理事業（経）	105010310	保育所・保育園や学校等による食育担当者会議を開催する

【計画指標②】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
健康維持・増進につながる食事に関して興味がある人の割合（20 歳以上）	78.1%	79.7%	82.0%
栄養のバランスに気をつけている人の割合（20 歳以上）	74.8%	77.2%	78.0%

□主な取り組み

○食育に関する知識の普及

管理栄養士、保健師等による研修会、養成教室を実施するとともに、食育に関する講座や広報を充実します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
長寿村づくり推進事業（保）	104010190	家庭での食事や保育給食、学校給食に村農産物を積極的に取り入れる
女性の健康づくり推進事業（保）	104010180	管理栄養士、保健師等による研修会、養成教室の実施
母子保健事業（保）	104010410	もぐもぐ通信（食育だより）の発行や食育講座など児童館、保育所・保育園における健康教育の充実

【現状と課題】

- ・ バランスのとれた規則正しい食生活の推進には、関係機関と連携をとり、切れ目なく食育を推進していくことが必要
- ・ 食育の担い手となる食生活改善推進員の食育活動への支援

(4) 疾病予防

【施策の目標】

疾病の予防・早期発見・早期治療に努め、住民の健康寿命の延伸を図ります。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
麻疹及び風しん予防接種 1 期の接種率 (当該年度 2 歳到達者が接種を完了している割合)	—	100%	100%
麻疹及び風しん予防接種 2 期の接種率	—	96.0%	100%

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○健診受診の働きかけ

すこやかカレンダー、広報等を通じて、健診実施や予防接種、感染病予防に関する情報提供を推進します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
一般予防事務事業（保）	104010210	すこやかカレンダー・広報へ感染症予防に関する記事を掲載・感染症流行時各施設へのポスター掲示による住民への周知及び手指消毒液設置による蔓延対策の実施
予防接種事業（保）	104010220	赤ちゃん訪問、育児相談における予防接種の個別指導、定期接種未接種者への接種勧奨の実施

【計画指標②】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
がん検診を受ける人の割合（30 歳～59 歳）	41.6%	52.2%	60.0%
歯科検診を受ける人の割合（30 歳～59 歳）	35.5%	23.4%	43.5%
特定健診受診率（40 歳～74 歳）	53.5%	54.6%	61.5%

□主な取り組み

○各種健診の充実

各種検診を充実し、疾病の予防・早期発見に努め、医療費を抑制します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
健康管理事業（保）	104010140	すこやかカレンダー、広報等による健康情報及び健診実施の情報提供・人間ドック結果説明会及び生活習慣病予防教室における健康相談、保健指導の実施
保健対策推進協議会事業（保）	104010150	年二回保健対策推進協議会を開催し、健診の受診状況や結果、保健センター事業の取り組み内容を報告
長寿村づくり推進事業（保）	104010190	検診の実施、受診後の精密検査受診勧奨及び健康相談の実施
母子保健対策事業（保）	104010410	妊産婦健康診査（医療機関委託）及び乳幼児健康診査（一部医療機関委託）を実施し、疾病の早期発見・早期治療に努める
シーラント事業（保）	104010420	シーラント予防処置費の補助を実施。むし歯予防教室において歯科医師から保護者に説明し周知
特定健康診査等事業（住）	210010110	個別及び集団健診を実施し、疾病の予防・早期発見に努め、医療費を抑制

【現状と課題】

- ・ 節目健診・1日健診の導入や、多様な健診メニューの設定により個人のニーズに合わせた健診が選択できる体制整備など、受診率向上対策を実施
- ・ 脳ドック健診・小児生活習慣病予防検診など、村の健康課題に対する事業を展開
- ・ 健診結果の正しい理解、精検未受診者への受診勧奨強化
- ・ 健診新規受診者の増加

(5) 高齢者の自立支援

【施策の目標】

健康増進、疾病や機能低下の予防、生活支援、地域における見守りなど、高齢者が健康な生活を送るための環境整備を進めます。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
一般介護予防事業開催回数	393 回	389 回	400 回
ICT 年間投稿件数※	—	153 件	500 件

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○介護予防の推進

ICT 活用による介護・福祉・医療の情報連携を推進し、高齢者の実態把握、各種健康教育、訪問支援を実施します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
一般介護予防事業（福）	604010110	65 歳以上の実態把握、各種健康教育、訪問支援を実施
地域におけるネットワークづくり（福）	新規事業	民生委員とは年 1 回の研修を実施 医療機関とは I C T の活用により情報連携を実施

【計画指標②】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
介護保険サービス受給率※	—	14.5%	15.0%
施設サービス費/人※	—	137,357 円	140,000 円
在宅サービス費/人※	—	130,320 円	135,000 円
地域密着型サービス費/人※	—	11,737 円	12,000 円

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○介護保険サービスの充実

心身の状況等に応じた適正なサービス給付により、要支援・要介護認定者の ADL の維持向上や自立に向けての支援をします。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
サービス給付事業（福）	602010110	要支援・要介護認定者に適正なサービス給付を行う。
老人福祉施設支援事業（福）	103010340	デイサービス増築資金の補助

【計画指標③】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
総合事業サービス受給者数※	—	0 人	120 人

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○総合事業対象者に対する自立支援

総合事業サービスを利用しながら高齢者の自立を促します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
介護予防・生活支援サービス事業（福）	新規事業	軽度者に適正なサービス給付を行い自立に向けて支援を行う

【計画指標④】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
訪問実施件数	—	1,679 件	1,800 件
給食利用件数	—	1,653 件	2,000 件
広報実施回数	—	1 回	2 回
緊急通報システム設置件数	—	19 件	25 件

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○高齢者を見守る仕組みの強化

訪問並びに給食配食時の安否確認、成年後見制度の利用支援、虐待防止に関する広報及び緊急通報システムの設置により高齢者の安全を見守ります。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
老人援護対策事業（福）	103010325	65 歳以上の独り暮らし高齢者、高齢者世帯、その他村長が認めるものに対して、社会福祉協議会が訪問等により安否確認を行う
給食サービス事業（福）	103010320	給食料金の一部を補助し、配食時に安否確認を実施
高齢者の虐待についての啓発活動（福）	新規事業	成年後見制度の利用支援、高齢者虐待への対応 虐待に関して広報に掲載する
緊急通報事業（福）	103010335	概ね 65 歳以上の独居高齢者、一人暮らしの身体障害者、ねたきり高齢者等をかかえる高齢者世帯を対象に、緊急通報システムを設置する

【計画指標⑤】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
福祉タクシーチケット支給件数	—	64 件	75 件
福祉タクシーチケット利用枚数	—	1,004 枚	1,220 枚
総合相談件数	—	523 件	785 件
介護支援専門員支援件数	—	63 件	90 件

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○高齢者の生活支援の充実

日常生活に対する経済的支援や介護者に対する福祉タクシー助成等の支援を行うとともに、買い物弱者支援システムの構築を図り、高齢者の暮らしの不安を減らします。

また、介護に関する総合相談や介護者の集いを実施したり、介護支援専門員に対する個別支援や支援計画作成支援を行います。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
老人福祉対策事業（福）	103010330	基準日に在宅の寝たきり高齢者等に、基準日 1 日につき 2 万 5 千円を支給
福祉タクシー助成事業（福）	103010345	要介護・要支援認定を受けている者、独居高齢者・高齢者世帯の者にタクシー料金の助成を行う・1 回上限 1500 円と迎車料金の利用券を 36 枚発行（リフトタクシーは基本料金を補助）
包括的支援事業・任意事業（福）	604020110	介護に関する専門職による総合相談 介護者の精神的負担軽減及び情報提供の支援のため介護者の集いを実施
介護予防支援事業（福）	701020110	介護支援専門員に対する個別支援 支援計画の作成における支援
買い物弱者支援システムの構築（福）	新規事業	関係機関と連携し、システムの構築を図る

【現状と課題】

- ・ 高齢化の進行により独居・高齢者のみ世帯が増加し、地域で高齢者を見守る社会形成が必要
- ・ 要支援・要介護認定者の増加が予想されるため、介護予防事業の充実が重要
- ・ 独居高齢者、認知症高齢者の増加に伴い、成年後見制度の利用促進が一層重要
- ・ 高齢者の外出機会や社会活動へ参加促進に向けた手段の確保が重要

(6) 高齢者の生きがいづくり

【施策の目標】

世代間あるいは高齢者同士の交流の場・機会の充実により、高齢者が家庭や地域社会で役割や生きがいを持って生活できる環境をつくります。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
記念式典参加者数	549 人	522 人	580 人

□ 主な取り組み

○ 高齢者に対する応援

健康高齢者を表彰するとともに、お祝い金を支給し、高齢者を敬う地域づくりを進めます。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
敬老会事業（福）	103010350	73 歳以上の高齢者を対象に記念品等を支給し 80 歳以上を対象に敬老金を授与
長寿奉祝金事業（福）	103010355	90 歳、95 歳、100 歳の誕生日を迎える方に、誕生日当日にそれぞれ、20 万円、50 万円、100 万円を支給する。
健康高齢者表彰事業（住）	103010365	敬老会において、1 年間、医療費が 0 円又は 5 万円以下であった健康な高齢者を表彰し記念品を贈呈

【計画指標②】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
敬老センター利用者数	67,351 人	97,811 人	100,000 人

□ 主な取り組み

○ 生きがいづくりの推進

ふれあいの郷を交流の拠点として、ふれあい温泉の維持管理を行うとともに、老人クラブに助成を行うことで高齢者の交流を促進し、お買い物バスの運行等により外出を支援します。

また、サロンや各種教室を開催し、生きがいづくりにつなげるとともに、村外のショッピングセンター等への買い物支援について検討します。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
ふれあいの郷における交流の充実 (企・経・敬)	新規事業	ふれあいの郷が交流の拠点となるように、関係課と調整・連携を図りながら人が集まる場作りを検討する
ふれあい温泉管理事業（敬）	103010540	利用者の健康増進、ふれあいの場として、ふれあい温泉を快適に利用できるよう維持管理していく
老人クラブ助成事業（敬）	103010375	教養の向上・健康の増進、地域社会との交流等を支援
老人福祉総務事業（敬）	103010520	サロンや各種教室を開催し、通いの場として充実させ生きがいをつくりにつなげる
高齢者支援事業（敬）	103010550	例会を欠席している会員の孤立を防止するため家庭を訪問
高齢者支援事業（敬）	103010550	買い物バスによる村外のショッピングセンター等へ買い物支援

【計画指標③】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
シルバー人材センターの会員数	—	101 人	105 人
シルバー人材センターの受託件数	—	680 件	700 件

※後期基本計画策定にあたり指標を設定したため、2011（平成 23）年度の数値は未記載

□主な取り組み

○高齢者の労働機会の供給

高齢者に適した仕事を確保し、適切にあっせんします。

□関連する事業

名称	コード	具体的内容
シルバー人材センター助成事業 (敬)	103010380	高齢会員に適した仕事の確保、連絡調整手法の見直し

【現状と課題】

- ・ 健康長寿には高齢者の生きがい確保が重要
- ・ ボランティアや就労など、社会貢献に対する高い意欲を持った高齢者が増加
- ・ 生活様式の多様化により老人クラブの会員数が減少傾向